

埼玉自動車大学校版

〒362-0806
北足立郡伊奈町
小室1123番地
048(723)5522

おかげさまで10周年 オートジャンボリー2016 10,000人を超える来場者で賑わう



「オートジャンボリー2016」が7月23日、24日の2日間、本校を会場に開催され、10,880名の来場者があった。毎年回を重ね、今年は10回目の記念すべき開催となった。

校内から実習場、グラウンドでの展示は、ヒストリックカー、カスタムカーをはじめ2輪、4輪車があり所狭しという状況で総数491台の展示があった。

埼玉県警からは、パトカーや白バイの展示、自衛隊からは、普段見ることのできない特殊車両の展示。系列校の埼玉栄中学・高等学校マーチングバンド部による演奏などイベントに華を添えた。

また、イベントショーでは、2輪、4輪によるエクストリームやカースタント、スーパーカーのデモランが



校外学習 自動車車体整備科 カスタムボディ科

自動車車体整備科、カスタムボディ科の学生が6月29日から3日間の日程で、名古屋市にあるトヨタ博物館と産業技術記念館、大阪のユニバーサルスタジアオジヤパンと大阪道頓堀を訪れ、校外学習を実施した。

1日目のトヨタ博物館、産業技術記念館では日本昭和の名車や欧米車を含め数多くの車両があり自動車の歴史と生活文化との関わりを学ぶ事ができた。
2日目のユニバーサルスタジアオジヤパンでは、近年まれにみる発達を遂げている接客業を直に感じる事ができ、有意義な研修となった。



テストコースで行われ今回も大盛況であった。
その他、自動車関係のイベントに限らず、子供から大人まで楽しめる盛り沢山の内容があり来場者は、心行くまで暑い夏の日を満喫していた。

平成28年 女子セクセン大学 50名が整備士を体験

あけお・いな・おけがわ地区の小学生50名を対象に、本校を会場に子ども大学を実施した。これは、子ども学ぶ力や生きる力を育むとともに、地域で子どもを育てる仕組みを創ることを目的として地域の実行委員



会が主催で行われている。内容は「自動車整備士になろう」で、整備、塗装、ハイブリッド機構など体験をとおして学び、また、テストコースでのオープンカー同乗体験では、初めての体験に歓喜あふれていた。私たちの仕事や生活において、自動車は不可欠なものであるため、自動車整備の体験をとおして、車の魅力、おもしろさ、そして関心を抱かせ、将来若いエンジニアが誕生してくれることを期待したい。



夏期休暇前の 安全講話を実施

安全講話が、7月20日佐藤由江初代校長記念館で学生を対象に、埼玉県警察本部交通機動隊より倉林昌明隊員を招き、実施された。講話は、埼玉県の交通事故状況に続き、県内で事故が多発していることもあり、事故防止のための具体的な説明があった。



その内容は危険運転致死傷罪についてであり、交通事故を減らすには、ルールを守り違反をしないこと。特に危険運転は重大な交通事故を引き起こす。悪質な交通事故に対応するため刑法が改正され、アルコール摂取や薬物使用をしての運

転、重大な交通の危険を生じさせる高速度での運転など詳細な説明があった。その他、自転車の交通ルール違反の罰則強化、飲酒運転の撲滅や防犯について講話が続き学生自身に運転を振り返らせ、安全運転の高揚を図った。

東京ディズニーシー 校外学習

一級・二級自動車整備科1年283名は7月8日、成功するテーマパークでのサービス内容や接客応対などを学ぶことを目的に東京ディズニーシーでの校外学習に参加した。常に新しい企画を提供し多くのリピーターを呼び込むサービスはどこにあるのか、ただ単にアトラクシ



ンを楽しむのではなく、その中から接客法や多くの工夫を学んだ。それぞれにテーマを与えられた学生は普段とは違った目線で、スタッフの動きや笑顔での接客、幅広い年齢層に対しての心配り、ゴミ一つない施設環境、アトラクション施設の安全対策など、これまで当たり前として捉えていたことを見直す良い機会となり、改めてその大切さを感じ取っていた。
入学後、3ヶ月が経ち、学生間の親睦も深まり、学年全体としての団結力とチームワークをより強固にすることができた。